

<p>項目</p>	<p>書名 New Horizon English Course</p> <p style="text-align: right;">2 東京書籍</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○グローバル化に適応できる日本人育成のために、積極的に世界と繋がろうとする「心」を育てると共に、世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、伝統や文化に関する題材を豊富に取り上げている。</p> <p>○生徒の自己表現活動が豊富で、「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」ができる。技能別の練習問題をたくさん取り入れ、4技能がそれぞれ重点化または統合化され、繰り返し学習することで、基礎的な知識・技能を確実に定着できるよう工夫されている。</p>
<p>特色</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○Unit で基礎の反復練習、Daily Scene で日常のコミュニケーション場面における活用、Presentation で自己表現活動、という3部構成によって、4技能を総合的に育成できる学習の流れとなっている。</p> <p>○Daily Scene は日常によくあるシチュエーションで展開しており、基礎文法の定着を目指している。</p> <p>○まとめでは、文法の要点を整理して示し、確認問題で理解度を図ることができる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○Presentation は自己表現力と発信力を高める活動が様々な形で取り入れられており、特に段階を追って年に3回スピーチ作成に取り組めるようになっており、統合的な学習を定期的に取り入れ表現力の育成に重点を置く仕組みとなった。</p> <p>○読み物教材は日本の人や文学作品など取り入れ、その感想を話し合い、文に書く等、発展学習として取り組める仕組みになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○学び方コーナーは辞書の使い方、文章のまとめ方など手順や例を用いてわかりやすく自主学習のポイントを説明しており、この教科書の1つの特徴となっている。</p> <p>○題材に震災関係・防災教育・愛国心・伝統文化・グローバル化等を取扱い、実践的な英語を用い、主体的に英語を使ってコミュニケーションの図れる生徒の育成を目指している。</p> <p><聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○4技能をバランスよく学べ、基本文の定着が図れるよう、分量など工夫している。</p> <p>○年度初めのUnit0でも前年度の総括的学習としてShow and Tell等の表現活動を取り入れており、前年度までの総合的な力を図る良い機会となっている。</p>
<p>資料</p>	<p>○巻頭には、1学年は「ことば」、2学年は「学び」、3学年は「かかわり」をテーマにした写真資料がある。</p> <p>○教科書のサイズは横幅が広いサイズになり、資料を大きく掲載し、新出単語は本文の横に配置され、書き込むスペースを作ったりしている。</p> <p>○巻末には Bonus Word Box, Word Room で学びたい語彙や英語表現、日本文化の説明等がカラーイラスト付きでされている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○1学年では、Let's Read は活字体を使用し、それ以外はブロック体を使用している。2・3学年でも Tool Box, Daily Scene ではブロック体を使用し、それ以外は活字体を使用している。1学年で各単語にアクセント、2・3学年で発音記号が併記される。また発音記号を使用した音の分類がある。</p> <p>○教科書のサイズが広がり、本文の横に語句が位置付けられている。1学年 Unit5以降、文字が小さくなり、行間も狭くなる。2学年以降さらに文字が小さくなり、Further Reading ではさらに文字が小さく、行間が狭くなり、情報量が増える。</p>
<p>総括</p>	<p>○Unit, Daily Scene, Presentation の3部構成はわかりやすく、学期に一度の自己表現活動もわかりやすくなっている。また、学び方コーナーも英語学習に必要な手順を抑えており、発信力を高めるためのマニュアルの一部になっている。</p> <p>○Presentation, Daily Scene, Unit0等表現力・発信力を高める活動が増えている。</p> <p>○国際社会、日本の伝統文化に対する理解を深める題材が多くなっている。</p>